

安来市立島田小学校 心に残る文化財子ども塾

5月28日(水)には、安来市立島田小学校に伺いました。6年生36名の参加です。時間は45分。テーマは、『奈良の大仏』の巨大さと、込められた思いで、体験活動としては「奈良の大仏の実物大パネル」を組み立てました。パネルの部品は1辺1m 四方のシート188枚。かなりの枚数にもかかわらず、36人の6年生が抜群のチームワークで完成させました。大仏についての質問もどんどん飛び出し、強く関心を持って学習に取り組んでくれました。こういう活動を通し、歴史や文化に興味を持ってくれると嬉しいですね。



▲ 土台(蓮華座)しかない状態からスタート



▲ 胴体部分まで仕上がりました！あと少し



▲ 完成！36人がすっぽり収まる巨大さ



▲ 代表の子が筆を持ち、みんなで開眼です

【学習後の感想】

- ・一番心に残ったことは、大仏を作る時にならべている時です。こんな体験をしたのは初めてだったので心に残りました。
- ・大仏作りでみんなが協力して大仏を作っていて、みんないっしょうけんめいだな—と思った。
- ・大仏に目を入れる作業が心に残りました。目を入れる人以外も紐で体感できて嬉しかったです。
- ・大仏のおでこには、4m50cmの毛がある(→白毫)と初めて知ったので良かったです。
- ・大仏への質問 Q&A で、私がずっと分からなかった事がよく分かりました。他の子の質問もすぐためになりました。

安来市立島田小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました。